

## 勤務医負担軽減及び処遇改善計画 令和7年度(計画)

### ●勤務医の状況

1	常勤医師数 7名	非常勤医師数 10名	7+外部
2	週平均勤務時間 37.5時間	(令和 6年度実績)	
3	週平均残業時間 14時間	(令和 6年度実績)	
4	平均当直回数 1.1回/月	(令和 6年度実績)	

### ●勤務医負担軽減の今後の取り組み(継続を含む)

- 1 医師事務作業補助者の増員及び業務内容の見直し
- 2 医師の採用⇒診療科の充実、増員(麻酔科、腎臓内科、循環器内科、消化器外科、消化器内科)
- 3 退院調整業務の拡充⇒MSWの拡充
- 4 育児休業制度の普及⇒男性医師の育児休業取得制度の周知
- 5 特定行為看護師等の増員と育成によるタスクシフト/タスクシェアの実行
- 6 連続当直を行わない体制づくり
- 7 勤務間インターバルの配慮
- 8 出退勤システムの導入
- 9 宿日直許可の取得
- 10 面接指導医の確保

### ●処遇改善計画

- 1 医師の働き方改革に向けて本部と共同での推進
- 2 医師の適切なシフト管理
- 3 出退勤システムの定着化、手間のかからない機器への新規導入検討
- 4 適切な定期昇格、当直手当等の見直し
- 5 宿日直許可申請の取得
- 6 医師の研鑽労働時間の明確化

### ●今年度の目標と評価

	項目	現状	目標	達成度	評価
1	医師事務作業補助者の増員	30対1	20対1		
2	医師事務作業補助者の業務と範囲との見直し	文書に関してはほぼ100%下書きを行っている。診療補助、オーダーの代行入力、消化器内科・外科・心外データベース入力を行っている。	増員により、入院に関わるオーダーや同意書取得等の対応、診療情報提供書の代行作成を開始する。		
3	医師の採用	麻酔科、腎臓内科、循環器内科不在	医師のリクルート活動を推進する		
4	出退勤システムの導入	出勤簿での管理	出退勤システムを導入		
5	特定行為看護師の確保、育成	現場配置0名	新規1名現場配置		
6	医療技術職員の教育と育成	研修修了者0名	各部門1名配置		
7	医師の1ヶ月単位の勤務表作成	1週間単位の勤務表	1ヶ月単位で作成		
8	宿日直許可の取得	宿日直許可なし	宿日直許可の取得		
9	面接指導実施医の確保	1名	5名		
10	負担の少ない電子カルテシステムの導入	旧式電子カルテシステム	効率の良い新システム導入		

### ●現行の取り組み

1	各種手当の見直し	給与改定時に手当の見直し
2	メンタルケア対策	健康保険組合ホットライン設置
3	予定手術日前の勤務配慮	勤務シフトの調整 非常勤医師の活用
4	連続当直を行わない体制	勤務計画作成時に連続当直とならないよう調整 非常勤医師の活用
5	主治医制の見直し	診療科毎にチーム制を取り入れ勤務の改善を実施
6	人員確保に向けた医師対策	紹介派遣会社も活用した採用活動 非常勤医師の活用
7	出退勤システムの導入	出退勤システムの導入準備
8	医師の研鑽時間の明確化	法人規程の研鑽用紙の配布と周知